

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公)

公表: 令和5年5月31日

アンケート期間: 令和5年1月15日～令和5年2月15日

事業所名 えがおの教室 松戸ハケ崎

保護者等数(児童数)6名 回収数 6名 割合 100%

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	ご意見
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	6			奥行きがあって広いイメージがある。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	4	2		ものすごく多いという事ではないが、足りていると思う。専門性はわからないが、子どものことをよくしている姿が見られる。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	2		広いスペースでのフラットな印象はあるが、手すりがあるかはわからない。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	6			契約時に書面にて説明を受けました。
	⑤	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6			同上
	⑥	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	6			一日の流れや活動内容が明確になっている。
	⑦	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	6			工作や運動など、静と動の動きを取り入れている。子どもも喜んで参加している。
	⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	2	2	コロナ禍での交流は施設によっては断られるケースもあるので、仕方がないと思う。
	⑨	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	6			面談時、契約時に説明を受けている。
保護者への説明等	⑩	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	4	1	1	計画書は丁寧に子どものことを考えて作成されていると思います。
	⑪	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	2	2	2	なかなか難しいと思います。
	⑫	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	6			対応してくれていると思います。
	⑬	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	4	2		同上
	⑭	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1		5	利用した時期がコロナ禍なので、現状は難しいと思います。
	⑮	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	6			対応してくれていると思います。
	⑯	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	6			問題ないと思います。
	⑰	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	6			お便りの発行回数、は多いと思います。

	⑱	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	4	2		不安を感じることはありません。
非常時等の対応	⑲	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	6			書式としては出ていないが、掲載場所の提示はあった
	⑳	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	6			毎月1日はえがおの教室の避難訓練が行われています
満足度	㉑	子どもは通所を楽しみにしているか	6			「行きたくない」という日もあるが、それは「家にいたい」という気持ちからなのだと思う。基本は楽しく通っている。
	㉒	事業所の支援に満足しているか	6			いつもありがとうございます。

i 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

iii 保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得する事を目標とする。